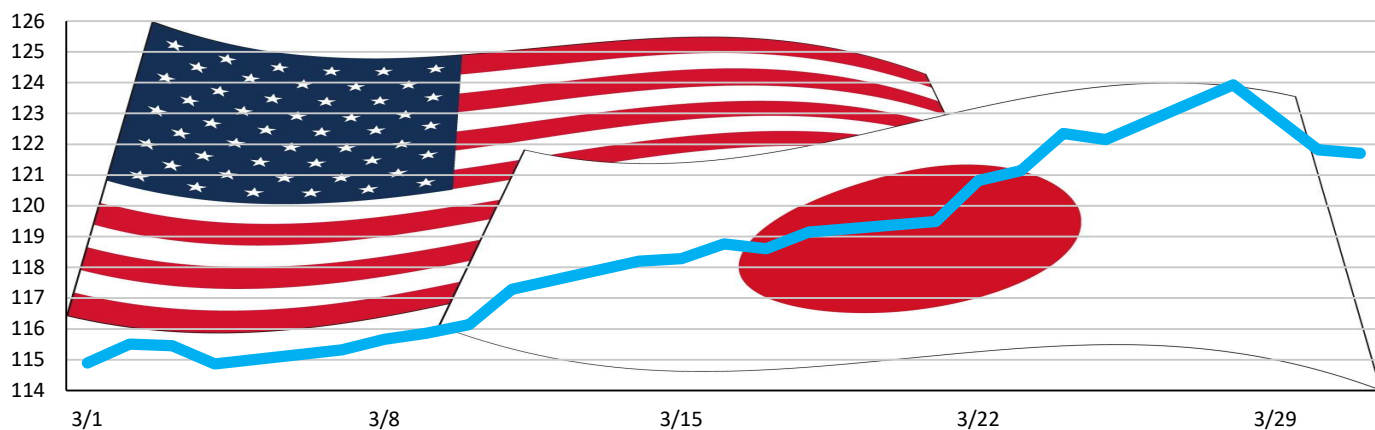


MARKET REVIEW

先月の振り返り：3月のドル円相場は114円半ば～125円前半で推移。月初はウクライナ情勢を警戒したリスク回避の円買いと国際決済通貨として必要なドル買いの攻防が見られたが、日米金利差拡大を意識した円売りやロシア制裁の影響を受ける欧州通貨を売る動きが強まったことでドル買いの流れ。さらに注目されたFOMCで利上げが実施され、今後の利上げペースが予想より強気の内容になったことや日銀の黒田総裁が円安容認姿勢を見せたことも円売りドル買いに拍車をかけた。月末に日銀による連続指値オペ実施宣言を受けて6年7か月ぶりの125円台をつけたが、当局関係者から円安をけん制する発言が出たことやウクライナ情勢が停戦に向けた期待が高まったことでポジション調整の動きが広がった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：125円台まで駆け上がったドル円について円安けん制発言も聞こえてくるが、日米金融政策の方向性の違いやウクライナ情勢が依然として不透明のままということもあり、円売りドル買いという大きな流れは変わらないだろう。ただ短期間で10円以上の値動きとなっていたことから材料次第で下押しする可能性もあるため、リスクマネジメントをしながらポジションを構築していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 26 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
4 / 28 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
4 / 28 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 5 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 5 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
5 / 6 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 11 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。